

三山8丁目自衛隊官舎跡地を公園に

日本共産党三山支部は、一月に地域 望書」を提出しました。このたび住民の要望をまとめ、船橋市と県に「要 回答を得ましたので紹介します。

県への要望

早急に国との境界を確定し、市が同跡地を購入入できるようなしてください。

県の回答

国から境界確認の申請があれば、県は速やかに対応いたします。

市への要望

早急に国から取得し、公園として整備してください。

市の回答

防衛省より報告があり、隣接民地側との境界が画定し、現在、道路部分と官舎跡地を分筆する準備を行っているとのこと。市としては、分筆後に用地が確定し、防衛省から財務省に所管換えがなされたことが確認できた際には、検討していきたい。

自衛隊官舎跡地問題の経過

日本共産党は二〇〇三年から「三山8丁目の自衛隊官舎跡地を緑地」と、再三陳情をしましたが、いずれも継続審議となっています。



12年前から要望している自衛隊官舎跡地の空き地

昨年7月に、中沢市議は志位事務所を通じて防衛省と交渉。民地との境界が確定し、市への譲渡を実現する道筋がつけられました。

二〇一三年二月の陳情書について市議会審議の様子



葛南土木事務所に要望する中沢市議

陳情賛成 共・市・無（高橋）

○共産党：「三山は公園の少ない地域。このような中に十三年も防衛省の更地が置かれている。こういう国有地があれば公園にしたいという住民の意向は当然。市自らも取り組みを始めた。国に対し、借りたい・買いたいと意思表示して「ぐへき」

×自由市政会：「財務省への移管も行われていない段階で、市から買い取りなどの話ができる状態ではない。仮に採択したとしても願意は満たされないの、議会としてこれを採択することはできない」

×公明党：「現在のままでは市が買い取るとは困難。推移を見る必要がある」

×民主党「防衛省の意向がよく分からない。条件の整理が必要」

×凜：「もう少し成り行きを見る必要がある」

みなさんとともに

八年間で住民の声を議会に届け、さまざまな要求を実現してきました。住民と力を合わせて実現したことは、他党派のどの市議にも負けないと思っています。

市は、福祉を削り、市民負



担を増やし、必要な都市生活基盤整備を後回しにする一方で、税金を二六一億円もため込み、大型開発に注ぎ込もうとしています。私は、船橋市の豊かな財政力を、住民の命とくらしの防波堤として生かします。

住民が主人公の市政実現のために、再度市議に押し上げてください。みなさんの大きなご支援を心よりお願い致します。

市議会議員 中沢 学

三山5丁目の自衛隊脇道 自衛隊敷地部分に砂利が

要望：三山5丁目の自衛隊脇道の自衛隊敷地部分を早急に舗装するよう自衛隊に働きかけてください。

回答：自衛隊にご要望をお伝えいたします。

自衛隊の脇道については、「道路と自衛隊敷地との間に段差があり、自転車が車を避けようとして転倒するなど危険な状態になっている」、「自衛隊の敷地部分の土がむき出しになっており、雨が降ると流れ出た泥が排水溝に溜まり困っている」と住民の皆さんの声が寄せられていました。

昨年6月には、中沢市議が志位和夫事務所とともに防衛省に対して直接「自衛隊敷地部分の舗装を」と要請しました。その結果7月に暫定措置として砂利が敷かれました。



三山5丁目の自衛隊脇道
右側部分が未舗装。
砂利が敷かれた。

自衛隊習志野駐屯地の業務隊管理課は、「今後、船橋市や周辺住民と舗装について協議していきたい」としていました。引き続き早期の道路舗装を求めていきます。

三山一丁目かいでん下の 歩道・バス停整備が進む

三山一丁目かいでん下バス停付近の歩道整備が完了。現在、バス停に屋根を設置するなど工事が進んでいます。

「子どもたちが車道を歩いて危ない。改善を」と、以前から要望が出ていましたが、市は「河川用地だから」という理由で柵で仕切つて長年放置していました。



車がやっと通れる狭い市道。鉄パイプの柵のため
歩行者や自転車などがすれ違いに一苦労する。

三山3丁目市道 車をよけるのに一苦労

要望：三山3丁目の市道について、両脇の鉄パイプに切れ目を設けるなどして、車が来たときに歩行者・自転車が退避できるように早急に改善してください。

回答：パイプにつきましては、民地への侵入を防ぐため設けられているものであり、市道の現状や近隣住民の要望等を土地所有者にお伝えいたしました。土地所有者との境界確定がなされておりますので、協力を得ることは困難でした。



かつての湿地を埋め立てて歩道に整備し、
コミバスのバス停に屋根をつける工事中

中沢市議は、住民の方からの訴えを受けて市に「至急、歩道整備を」と求め、実現しました。

コミバス 乗り残し解消へ

要望：車両を一台追加し、運行を二〇分間隔にしてください。

回答：京成バス会社は、「田喜野井線は船橋市から補助を受けて運行している路線のため、運行間隔については収支率を勘案しながら市と協議」していくとの回答。今後、市としても運行の可能性について検討したい。

「コミバスの乗り残し解消に向けては、習志野市のハッピーバスのような小型バス化はできないか実験走行が行われ、現在、検討段階に入っています。



2月12日コミバス小型バス化の実験走行の様子。
地域の住民40人ほどが参加し反響を呼んだ。